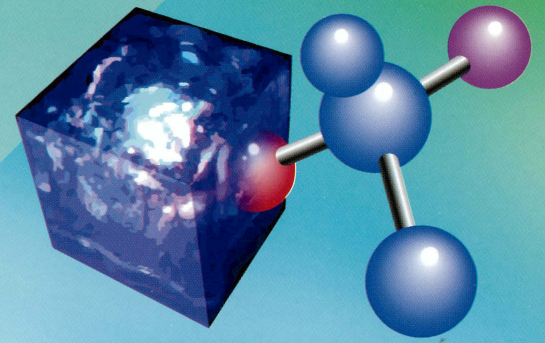
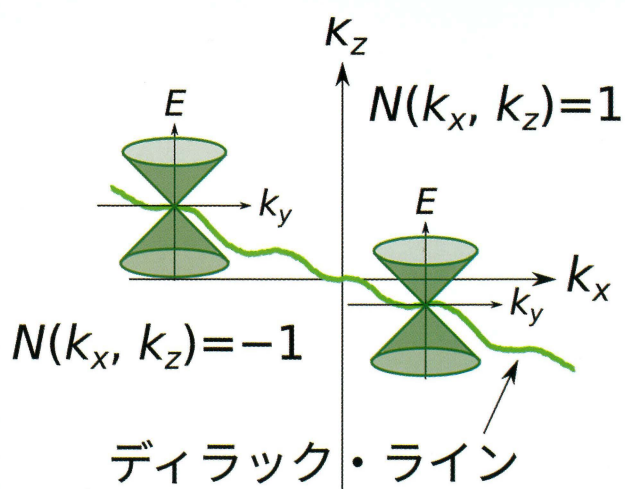


京都大学 物性科学 センター誌

(LTM センター誌)



Low Temperature and Materials Sciences [Kyoto University]



波数空間におけるトポジカル数 N が異なる領域を隔てる境界として現れるディラック・ラインの概念図

第37号
2020.12

目 次

第 37 号 2020 年 12 月

研究ノート

- 非共型な結晶対称性に保護されたディラック・ラインをもつ
トポロジカル物質 CaSb_2 における超伝導の発見
..... 池田敦俊 … 3
- 低エネルギー水素イオンを用いて水素化された二酸化チタンの
水素分布と電子状態
..... 長塚直樹 … 11

運営状況

- 寒剤供給状況 吉田キャンパス・宇治キャンパス・桂キャンパス..... 19
- 環境安全保健機構併任教員..... 21

投稿案内..... 22

編集後記..... 23

Table of Contents

Research Reports

Discovery of superconductivity in CaSb_2 , a topological material
with Dirac lines protected by a non-symmorphic symmetry
..... Atsutoshi Ikeda ... 3

Hydrogen Distribution and Electronic Structure of TiO_2 Hydrogenated
with Low-Energy Hydrogen Ions
..... Naoki Nagatsuka ... 11

From Organizing Committee

Amounts of Cryogen Consumptions : Yoshida Campus, Uji Campus and Katsura Campus
..... 19

Concurrent Staffs of the LTM Center 21

Call for Manuscript 22

Editor's Note 23

「京都大学物性科学センター誌（LTMセンター誌）」への投稿のお誘い
並びに原稿の作成要領
Call for Manuscripts for
"Low Temperature and Materials Sciences (Kyoto University)"

吉村一良^{1,2}, 編集委員会²

¹京都大学大学院理学研究科, ²京都大学物性科学センター

K. Yoshimura^{1,2} and Editorial Committee²

¹Graduate School of Science, Kyoto University,

²Research Center for Low Temperature and Materials Sciences, Kyoto University

所属の後にAbstractを数行、英文で書いてください。

1. はじめに

「京都大学物性科学センター誌（通称：LTMセンター誌，英文名：Low Temperature and Materials Sciences (Kyoto University)）では，環境安全保健機構が提供する寒剤・共通機器の利用者の皆様や関係者の皆様より「研究ノート」，「技術ノート」，「サロン」への投稿を歓迎いたします。投稿されました原稿は，編集委員会で審議のうえ掲載の可否を決定いたします。投稿にあたっては，電子ファイルを下記[†]宛にお送りください。また，併せて印刷原稿も[†]宛に郵送または持参いただきますようお願いいたします。初校刷りは電子ファイルより作成しますので，以下第2章を御参照のうえMS-Wordを用いて作成してください。InDesignまたはQuarkXPressのファイルでも結構です。また，pdfファイルも併せてお送りください。なお，編集委員会からの原稿依頼も行いますので，依頼させていただいた際にはよろしくお申し上げます。

2. 原稿の作成要領

A4用紙（レターサイズではありません）の上下左右に25 mm ずつマージンをとって，和文表題，英文表題，和文著者・所属，英文著者・所属，アブストラクト（英文），本文，参考文献，著者写真（35mm（幅）×40mm（高さ）），著者略歴の順に記述してください。1 ページ目は，必ず上から5 cm程度余白を空けて表題を書いてください。本文1行あたり全角45文字，1ページあたり40行を基準にしてください。漢字・かな・カナにはMS明朝，英字・数字には必ずTimes New Roman，本文中の見出しにはMSゴシック（またはこれらに準じる書体にしてください。ボールドは避けてください。）を使用してください。表題は14 point，著者・所属は12 point，本文は10.5 point，図・表のキャプションは10 pointの文字を用いてください。本文中，物理記号を表す記号は斜体（イタリック），単位記号は立体（ローマン）で表記し，物理量と単位の間や数字と記号の間にはスペースを1個入れてください。また，章の間にもスペースを1行設けてください。句読点は「.,,」に統一してください。

図は高解像度のものを本文中に貼り付けてください。カラー印刷が可能ですので，できるだけカラーの図を使用してください。印刷原稿の右下に鉛筆でページ番号を振ってください。その他の細部については，本稿ならびに下記Ref. [1,2] のスタイルを参考にしてください。

参 考 文 献

[引用番号] 著者名，雑誌名，巻数，最初のページ番号，年の順でお願いします。
例)

[1] 寺嶋孝仁，京都大学物性科学センター誌 **30**, 26 (2016).

[2] K. Yoshimura, Low Temperature and Materials Sciences (Kyoto University) **1**, 13 (2003).

[†] 京都大学物性科学センター誌編集委員会，〒606-8501京都市左京区吉田本町，
TEL : 075-753-9521, FAX: 075-753-9521, E-mail: terashim@scl.kyoto-u.ac.jp (寺嶋孝仁) .

編集後記

2020年も残すところ2か月を切り、多くの方は博士論文や修士論文の実験に向け忙しくされていることと思います。ただ今年は新型コロナウイルスのため、当初の実験計画からの変更を余儀なくされた方も居られるかもしれません。今年1月に中国で新型ウイルスが流行していることをテレビやinternetで見っていたものの、どこか「対岸の火事」のような気持でいましたが、3月になって日本でも流行の兆しが表れ、ついには大学閉鎖に近い処置までに追い込まれる未曾有の状況に陥りました。その対応に追われた際も、本学の低温センターでは関係者の御尽力により、寒剤の大きな供給制限等も行なうことなく継続的な供給を行って頂きました。この場を借りて低温センターとその関連部署の職員の方々には利用者の立場から厚く感謝の意をお伝えします。今後の感染第三波に備えての予防の徹底に努め、早く平穏な日々に戻ってほしいものです。今年度の物性科学センター講演会で皆さんとお会いできることを願っています。

K. I.

京都大学 物性科学センター誌 (LTM センター誌)

Low Temperature and Materials Sciences

(Kyoto University)

第37号 2020年12月 Volume 37, December 2020

編集委員会：寺嶋 孝仁 (編集委員長), 吉村一良,
矢持 秀起, 石田 憲二, 中村 裕之,
笠原 裕一, 藤原 直樹, 前里 光彦, 藤田 晃司

事務局：〒 606-8501 京都市左京区吉田本町
京都大学環境安全保健機構 物性科学センター
Tel:075-753-9521 Fax:075-753-9521

E-mail: terashim@scl.kyoto-u.ac.jp (寺嶋孝仁)

印刷：創文堂印刷株式会社

研究ノート

- p3 ・ 非共型な結晶対称性に保護されたディラック・ラインをもつトポロジカル物質CaSb₂における超伝導の発見
 _____ 池田 敦俊
- p11 ・ 低エネルギー水素イオンを用いて水素化された二酸化チタンの水素分布と電子状態
 _____ 長塚 直樹

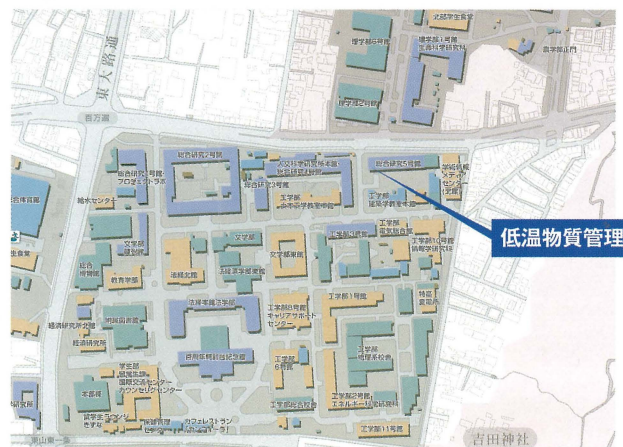
運営状況

- p19 ・ 寒剤供給状況 吉田キャンパス・宇治キャンパス・桂キャンパス
- p21 ・ 環境安全保健機構併任教員
- p22 投稿案内
- p23 編集後記

吉田キャンパス (北部)



吉田キャンパス (本部)



宇治キャンパス



桂キャンパス

